



時（とき）

まだ幼かった頃、時間はゆっくりと流れ、今思えば、「これから何をしようか」などと、いつもわくわくしながら過ごしていました。休みの日などは、なおさらでした。一日はとても長く、毎日、まるで旅にでも出かけているかのようなようでした。一週間はさらに長く、一年に至っては、とてつもなく長い時間でした。

緩やかな時の流れの中で成長し、いつの間にか大人になると、いつの頃からか、「忙しい」という言葉が口癖になっていました。同じようなことを繰り返す日々が続き、一年間が過ぎ、それが何年も繰り返されてきました。休みといっても、ただ疲れを癒やし、たまった仕事を片付け、常に何かの準備に追われるという生活。幼かった頃には待ち遠しかった「明日」が、時には重苦しく感じられることさえあります。

大人になるにつれて、時の流れが速くなったかのように感じますが、時の流れに差はないはず。変わってしまったのは、「生き方」です。

子供の頃は、好きなことや興味のあることを見つけると、なりふり構わず、すぐに没頭したものでした。新しいものとの出会いがあると、素直に、もっと知りたい、もっとやってみたいと思い、時間の経つのを忘れてそのことに集中していました。私の場合は、それは虫だったり、縄文時代の土器や石器だったり、化石だったり、カメラだったり、テニスだったり、ビートルズだったり、ギターやドラムやベースだったり、などなど、いつの間にか詳しくなったりできるようになっていたりしていました。そこには「努力」ももちろんあったのですが、その前提になる、わくわくする好奇心による「やる気」や、理屈抜きの「ときめき」があったのだと思います。

大人になると、社会の中での役割としての「仕事」や「立場」が重くのしかかり、多くの時間を「義務」に費やすことになります。しかし、人生は「義務」以外の所にあるのだと思っています。

大人になっても、「今」を過去と未来の展望台や、繰り返される日々の待機所にしてはいけません。充実した「時」を獲得するために、幼い頃のように、常に何かを求め、受け入れ、楽しみ、感動し、義務に支配されたり時に流されたりすることなく、「今」を自分のものにしたいものです。

郡山小学校の子供たちにも、幼い今、大いに好奇心を持ってわくわくしながら成長し、大人になってからも、好きなこと、やりたいことを見つけて、義務だけではない豊かな人生を歩んでほしいと願っています。

..... 切り取り線

子供たちのための、意見・提案・要望・校長に知らせたいこと など

2023年3月3日（ ）年（ ）組 児童氏名

※匿名でも結構ですが、御連絡が必要な場合等を考え、記名していただくとありがたいです。

※担任に御提出いただいても、校長室前のポストに直接入れていただいても、校長に直接手渡していただいても、いずれでも結構です。（校門前のポストではありません！ご注意ください☺）

※メールでも随時受け付けております。kosaki-k@sendai-c.ed.jp（校長直通）